

事業報告書

氏名及び商号 (法人の名称及び代表者名)	株式会社 宮津 代表取締役 宮津 太郎		
事業を実施する施設	宮津営業所		
DX化の内容	(事業の種類に☑を付けてください。 ☑業務システムの導入 (在庫管理、販売管理、勤怠管理、セルフオーダー等) □会計システムの導入 (インボイス・キャッシュレス等) □店舗内 Wi-Fi 整備 □EC サイトの活用 □その他 ()		
補助対象事業 の経費合計 (A)	(税抜き額で記載) 280,000 円	補助金申請額 (B) = A × 1/2	(千円未満切り捨て) 上限 10 万円 100,000 円
事業の内容	(1) 申請者の現状と課題 (申請の背景) (申請者の事業概要 (会社概要パンフレットの添付でも可)、業界動向、課題等を記載)) 飲食店において、注文は手書き伝票で対応しているため、注文から調理開始、料理提供まで時間を要し、下記間違い等による人的ミスが発生している。 (2) 導入機器等の利活用の目的とその内容 (どのような形で導入機器等の利活用を行うのか、できるだけ具体的に記載) セルフオーダーシステム (ハンディ端末、レシートプリンター、キャッシュドローア) を導入し、注文だけでなく会計時も円滑にし生産性向上を図る。		
事業の効果	(本事業の展開計画や期待される効果など、可能ならば定量的な目標数値と併せて記載) 料理提供までの時間短縮だけでなく、注文漏れや集計漏れなど、人的ミスの要素がなくなることにより、従業員の負担が軽減した。 また、メニューごとの売上データの自動集計により、販売時期等の分析が簡易にできるようになった。 上記により、売上前年比 20%アップを見込む。		

- 備考 1 欄が足りない場合は、適宜欄を広げて記載してください。
2 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができます。